

平成29年
10月号

太陽の都 だより

発行所●医療法人社団 博栄会 介護老人保健施設「太陽の都」〒115-0051 東京都北区浮間 2-1-13 TEL03-3558-8881 FAX 03-3558-8831

責任者 椎葉

しめくわい



施設長

川本 清

仲秋の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より介護老人保健施設「太陽の都」ご利用ご愛顧賜り、御礼申し上げます。さて、平成十年に北区初の老人保健施設として誕生した「太陽の都」は本年十月一日から、開設二十年目のスタートとなりました。現在も含め介護、保健、医療の世界は変動を続けています。その中で、地域の皆様に安心して「太陽の都」を利用して頂けるよう、職員一丸となって力を注いで参りました。介護の場面では、「ユマニチユード」の人間観を基にした、知覚、感情、言語による「ミニコミュニケーション」法でのケアに取り組んでいます。「デイケア」では、いわゆる「デイサービス」と違い、利用者様に個別のリハビリテーションを提供しています。また、皮膚・排泄ケア認定看護師の着任により、皮膚のケア、傷のケア、褥瘡のケアの他、シーティング（座り方）等、幅広いケアを提供出来る様になりました。感染対策も含め、私達は、専門職がチームワーク良く、施設入所でも、在宅の方でもケアを必要とする方々、その御家族様の為に、安心して、自立したその人らしい生活を送って頂けるよう、これからも努めて参ります。

行事報告

☆敬老会



夕暮れになると聞こえ出す虫の音に秋を感じる頃となりました。テレビでは、紅葉の見頃の時期などの情報が流れ、「ご利用者様も「もう、そんな季節ね」と、秋の訪れを感じていらつしやる様子です。九月十七日に、沖縄エイサーを披露してくれる大学生の皆様を招き「敬老会」を開催致しました。エイサーとは沖縄県と鹿児島県奄美群島でお盆の時期に踊られる伝統芸能です。この時期に前世に戻ってくる祖先の霊を送迎するため、若者たちが歌と囃子に合わせ、踊りながら地区の道を練り歩くというものです。二十名近くの若者たちの歌や太鼓、踊りの迫力に、感激して涙を流す方、一緒に踊る方、手拍子をされる方、と、それぞれにエイサーを楽しんでおられました。エイサーを楽しんで頂いた後、職員より利用者様、お一人、お一人にお祝いの賞状をお渡しし、会の終了時には、今年、「白寿」を迎えたお二人の方を、会場の参加者全員で大きな拍手でお祝い致しました。ちなみに、当施設には百歳を超えるご利用者様が二名いらつしやいます。皆様、「東京五輪」観戦を楽しみに毎日を元気に過ごされています。



クラブ・行事予定

書道クラブ

二階は毎週月曜日、三階は毎週木曜日の昼食後に食堂で行っております。利用者様の作品は各フロアに展示されておりますので、来所された際には是非ご覧になって下さい。

茶道クラブ

月に一度、浮間中学の茶道部の生徒さんにボランティアとして来て頂き、当施設の一階食堂にて茶道クラブを行っております。利用者様は中学生との交流と点ててくれるお茶を、とても楽しみにしておられ、毎回和やかな雰囲気の中で楽しく行っております。

映画会

三階は第三金曜日、二階は第四日曜日に各フロアにて大型スクリーンやスピーカーを使用し、映画館で観ている様な雰囲気を利用者様に味わって頂けるようにしています。いつもより大迫力な画面での視聴を、皆様楽しんでおられます。

運動会

十月は毎年各フロアで運動会を開催しています。ご利用者様をチーム分けして対抗戦で個人の出し物や玉入れのような団体戦と、毎回楽しく行われています。各階開催日時が違います。フロアに掲示しておりますので、ご面会の際にご確認ください。

博栄会グループニューース

赤羽中央総合病院は北区在宅療養患者・高齢者搬送支援事業「北区在宅医療サポート搬送入院システム」に登録いたしました。

在宅で療養生活を送る高齢の区民の方などを支援する事業です。在宅療養中、医療機関での治療が必要になったときに、区内の病院が持っている病院救急車で搬送します。

当院は、このシステムに協力医療機関として登録いたしました

●システムの利用対象者(次のすべてに該当する方)

- ①北区民である
 - ②かかりつけ医が決まっている
 - ③区内で訪問診療・訪問看護等を受けて在宅療養をしている方、またはかかりつけ医が適当と認められた方
 - ④かかりつけ医から病気について十分な説明を受けている
- ※かかりつけ医からの要請により搬送いたしますので、患者様から直接の依頼はお受けできません。※搬送費用は無料です



<近況報告>

様・御家族様

『こちらのスペースに当施設職員よりご家族様へ近況報告を添えさせて頂いております。』

担当